



モスクワ日本人学校

しらかば

第3号

モスクワ日本人学校

一人一人が輝く学校

笑顔あふれる学校

児童生徒数 118名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

「平和」について考える

(杉原千畝記念館にて)

想像力を発揮する

校長 石川 賢

修学旅行実行委員の生徒に「好きな曲」を尋ねられ、ボブ・ディランの「Blowin' in the Wind (風に吹かれて)」と答えました。修学旅行のテーマの「平和」を考えるきっかけを与えてくれる曲だと思ったからです。

リトアニアで平和について学んだ生徒たちに、歌詞を読んでもらい、その意味を考えてみようと呼びかけました。学びを通して気付いた戦争の悲惨さや平和の大切さを、想像力を発揮して自分の言葉で考え納得する形で理解してほしいと思いました。

How many ears must one man have

Before he can hear people cry?

How many deaths will it take till he

knows. That too many people have died

The answer, my friend, is blowin' in

the wind. The answer is blowin' in the wind

一人の生徒が次のように翻訳してくれました。なかなかの名訳です。

人が泣いていることを知るのに、どれほ

どの年月がかかるだろう。たくさんの人々が亡くなったと気付くのに、いくつの死が必要だろう。友よ、その答えは風に舞っている。答えは風に舞っている。そして、何人かの生徒が「風に舞っている」の意味を考えてくれました。

◆風は吹いているけれど、普段人は見過ごしている。「答えも本当は在るけれど、私たちは見過ごしてしまっている。」

◆風は誰のところにも吹く。「答え」も同じ。多くの人が考えるべき。答えは一つではない。

◆「答え」は吹く風のように身近で、すぐそこにある。それなのに、風に舞ってしまい手に取ることができない。

◆戦争するのも人、平和を願うのも人に風は舞う木の葉のように、人にも表裏がある。注意深く「答え」を探そう。

想像力は、経験に意味を、知識に理解を提供する力です。モス日生の感性豊かな想像力から学んでいます。